

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3552		
科目名	国際政治学		
担当教員	大八木 時広		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 3		
講義室	1304	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CR)との関連 E1 学識と専門技能-50% I1 理解・分析と読解-30% I2 量的分析-10% I3 情報分析-10%		
教員の実務経験	特になし		
成績ターゲット区分	■ 能力開発の目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	国家単位を超えた国際社会における国家と国家の間の政治的関係、外交、戦争と平和などの諸問題について考察します。国際政治に関わる歴史的経緯から、国際政治学の理論やモデル、国際機関の役割など幅広く学ぶことにより、国際政治学の総合的な理解を深めることを目標とします。授業形態は講義により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業(オンデマンド型)を取り入れます。 ■キーワード 現実主義理論、リベラリズム理論、グローバル市民社会		
授業の趣旨	■ 副題 危機管理の課題がますますグローバル化する現代において、国際政治の視点から現代世界を分析します。 ■ 授業の目的 国際政治学(国際政治史を含む)の基礎知識と基礎概念を修得し、さらに国際政治の理論的アプローチを修得し使いこなせるようになることを目的とします。次に身につけた知識と理論的アプローチを用いて、現実の国際政治を分析し説明できるようにします。またグローバル・ 이슈について知識を修得する中で、グローバルな倫理観とグローバルな公共心を養います。習得した国際政治についての知識を用いて現代の国際政治状況を的確に把握しかつ正確な判断を下す能力を修得することを目的とします。さらに現代の国際政治において、いかなる課題があるのかを探究しかつ課題解決を図る能力を修得することを目的とします。 ■ 授業のポイント 国際政治観の変遷、それぞれの国際政治理論の共通点と相違点に焦点を当てて説明します。		

総合到達目標	■ 国際政治においてどのようなアクターがあるのか、どのような役割を果たすのか説明できる。 ・アクターとしての国家について説明することができる。(第2～3回) ・アクターとしての国際機関について説明することができる。(第3回) ・アクターとしての地域国際機関について説明することができる。(第4回) ・アクターとしてのNGOについて説明することができる。(第5回) ■ 国際政治におけるパワーとは何か、どのような要素から構成されているのか説明できる。 ・パワーとしての軍勢力について説明することができる。(第6～7回) ・パワーとしての経済力について説明することができる。(第7回) ・パワーとしてのソフトパワーについて説明することができる。(第7回) ■ 国際政治の基本的理論について説明でき、その理論を用いて現実の国際問題を分析できる。 ・現実主義の国際政治理論について説明することができる。(第6～7回) ・リベラリズムの国際政治理論について説明することができる。(第9～11回) ・ネオリアリズムの国際政治理論について説明することができる。(第8,12回) ・現実主義の国際政治理論を用いて、冷戦の対立について説明することができる。(第6～7回) ・リベラリズムの国際政治理論を用いて、国際的相互依存について説明することができる。(第10回) ・リベラリズムの国際政治理論を用いて、「民主主義による平和」について説明することができる。(第11回) ■ グローバル・イシューの性質を理解し、どのような課題があるか説明できる。 ・地球環境問題について説明することができる。(第13～14回) ・グローバルな軍拡と軍縮について説明することができる。(第13,15回)	
成績評価方法	■ レポート2回(40%)：適用ルーブリック E1・I1・I2・I3 (評価の観点) 授業の内容を踏まえて、知識が身についているか、テーマに関して論理立てて明確に自分の考えを示せるかについて評価します。 (フィードバック方法) 解説は後日、クラスルームで配布します。 ■ リアクションペーパー15回(60%)：適用ルーブリック E1・I1 (評価の観点) 単元ごとの理解度を図ります。 (フィードバック方法) 解説は後日、クラスルームで配布します。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の大まかな流れ・概要について説明します。具体的には授業計画・成績評価などについて説明します。またテキストや参考資料について説明し、どのように読めば良いのか、どのように用いて予習・復習に役立てるのかといった点について説明します(E1,I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。 ③予習(120分) シラバスをあらかじめ読んでおく。 ④復習(120分) 授業の全体の流れを確認し把握しておく。
	2	①授業テーマ 現代国際政治の基本的特徴 ②授業概要 現代国際政治の基本的特徴を説明します(E1)。具体的には、国際政治におけるアナーキー性、国際政治の争点の変容、統合と分離といった視点から分析する能力を養い(I1,I2,I3)、国際政治の課題への気づきを行います。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』1章と3章を読み、基本概念についてまとめておく。 ④復習(120分) アクターやパワーについて学んだことを踏まえ、アクターはどのような要素から成り立つのかまとめておく。
	3	①授業テーマ 現代国際政治におけるアクター(1) ②授業概要 国際政治におけるアクターについて、とくに国家と国際機関について説明し(E1)、こ

	これらのアクターが国際政治においてどのような役割を果たすかを分析します(I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』1章と3章を読み、アクターとしての国家と国際機関についてまとめておく。 ④復習(120分) アクターとしての国家と国際機関の比較を行い、両者の違いをまとめておく。
4	①授業テーマ 現代国際政治におけるアクター(2) ②授業概要 地域国際機関について説明し(E1)、これらのアクターが国際政治においてどのような役割を果たすかを分析します(I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』10章を読み、地域国際機関の事例をまとめておく。 ④復習(120分) 地域国際機関の4類型の比較を行い、まとめておく。
5	①授業テーマ 現代国際政治におけるアクター(3) ②授業概要 CSO(市民社会組織)ないしはNGO(非政府組織)について説明し(E1)、これらのアクターが国際政治においてどのような役割を果たすかを分析します(I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』8章を参考にして、パワーの要素を簡潔に予習しておく。 ④復習(120分) ソフト・パワーについて学んだことを基に、具体的な事例をまとめておく。
6	①授業テーマ リアリズム理論 ②授業概要 国際政治学の成立当初の理論状況について説明し、理想主義と現実主義の論争を中心に説明します。次にモーゲンソーの理論、とくにモーゲンソーの権力概念、6つの理論的原則を説明します(E1)。また理想主義を用いて国際政治における倫理的課題を説明します。(I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』8章を読み、モーゲンソーの考え方を予習しておく。 ④復習(120分) モーゲンソーの理論について学んだことを基に、6つの理論的原則を復習しておく。
7	①授業テーマ パワー、バランス・オブ・パワー ②授業概要 まず現実主義のみならず国際政治理論全体にとって重要テーマであるパワーの概念について説明します(E1)。特にパワーとはどのようなものか、パワーはどのように行使されるのかについて、ソフト・パワー、スマート・パワーの概念を含めて説明します。またバランス・オブ・パワーについて、3つの類型を中心に現実の国際政治に当てはめて分析し説明します(I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。なおレポートを課し、後日回収します。解説は後日、クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』8章を参考にして、パワーの要素を簡潔に予習しておく。 ④復習(120分) ソフト・パワーについて学んだことを基に、具体的な事例をまとめておく。
8	①授業テーマ ネオリアリズム理論 ②授業概要 現実主義の新たな理論であるネオリアリズムについて、代表的理論家ウォルツの議論を中心に説明します。まず従来の現実主義と関連づけて、構造主義的視点の議論を説明

	します(E1)。さらにネオリアリズム理論を現実の国際政治に当てはめて分析し説明します(I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』8章を読み、ネオリアリズムの理論的概要を予習しておく。 ④復習(120分) ネオリアリズム理論の基礎概念をまとめておく。
9	①授業テーマ リベラリズム理論 ②授業概要 リベラリズムの国際政治観について説明します(E1)。また現実主義の国際政治観との違いについて分析します(I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』8章と9章を読み、リベラリズムの国際政治の骨子をまとめておく。 ④復習(120分) 現実主義理論との違いをまとめておく。
10	①授業テーマ 相互依存論と国際レジーム論 ②授業概要 リベラリズム理論、とくに相互依存論について説明します(E1)。さらに相互依存論の描く国際政治観を現実主義のそれと関係づけて分析します(I1,I2,I3)。またさまざまな国際制度・ルールを発展を背景とした国際レジーム論について、事例を挙げて説明します。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』9章を読み、相互依存論の出現の背景を予習しておく。 ④復習(120分) 相互依存論と国際レジーム論について学んだことを基に、それぞれの理論的特徴をまとめておく。
11	①授業テーマ 民主主義による平和論 ②授業概要 「民主主義による平和論」を説明します(E1)。この理論がどのようなものか、リベラリズムの今までの議論とどのように異なるのか、さらに国際政治理論全体の中でどのような意義を持つのか説明し分析します(I1,I2,I3)。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』8章と9章を読み、すでに学んだリベラリズムの理論的概要を、まとめておく。 ④復習(120分) 「民主主義による平和論」が現実の外交政策(特にアメリカの外交政策)にどのように応用されているかまとめておく。
12	①授業テーマ 国際政治理論の新展開 ②授業概要 最新の国際政治理論の概要を説明します(E1)。まずネオリアリズムの新たな理論的展開である防御的リアリズムと攻撃的リアリズムを説明します。両者ともネオリアリズムの骨子を受け継ぎつつ、国家間協力について対照的な結論を導き出す点を分析します(I1,I2,I3)。また「民主主義による平和論」の最新版、リベラル・ピース論について説明します。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) すでに学んだネオリアリズムの理論的概要をおさらいしておく。 ④復習(120分) 防御的リアリズムと攻撃的リアリズムの違い、そして「民主主義による平和論」とリベラル・ピース論の違いをまとめておく。
13	①授業テーマ グローバル・イシューとは何か(1) ②授業概要 グローバル・イシューとは何かについて説明し(E1)、その意義を分析します(I1,I2,I3)。またどのような解決策があるのか、そのためには国際政治がどうあるべき

	かについて分析します。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』4章を読み、グローバル・ 이슈が従来の国際的争点とどのように異なるのかまとめておく。 ④復習(120分) グローバル・ 이슈の基本的性質についてまとめておく。
14	①授業テーマ グローバル・ 이슈とは何か(2)～地球環境問題 ②授業概要 グローバル争点の具体的テーマとして地球環境問題について説明し(E1)、分析します(I1,I2,I3)。またどのような解決策があるのか、そのためには国際政治がどうあるべきかについて分析します。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。なおレポートを課し、後日回収します。解説は後日、クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』4章と12章を読み、地球環境問題へのグローバルな取り組みについてまとめておく。 ④復習(120分) 地球温暖化対策についてまとめておく。
15	①授業テーマ グローバル・ 이슈とは何か(3)～国際政治と軍拡・軍縮 ②授業概要 軍拡の状況、そして軍縮・軍備管理問題、具体的には1970年代のSALT、1980年代のSTARTに代表される核の軍縮・軍備管理問題の試みについて説明し(E1)、分析します(I1,I2,I3)。またどのような解決策があるのか、そのためには国際政治がどうあるべきかについて分析します。授業後半でリアクションペーパーの作成・提出を行ってもらいます。解説は後日クラスルームで配布します。 ③予習(120分) 教科書『国際関係論』4章と15章を読み、核の制限交渉と削減交渉についてまとめておく。 ④復習(120分) 現代においてどの地域と国において軍拡が進められているのかまとめておく。
関連科目	比較宗教・文化論(RMGT3553)、国際法(RMGT3451)、国際人道法(RMGT3453)、安全保障論1(RMGT3551)、国際協力論(RMGT3560)
教科書	佐渡友 哲・信夫 隆司 共編『国際関係論[第3版]』弘文堂、2018、ISBN 978-4-335-00233-5
参考書・参考URL	授業内で指示します。
連絡先・オフィスアワー	■ 連絡先) 開講時に受講者に告知します。 ■ オフィスアワー) 木曜日・金曜日昼休み。アポイントを取って下さい。
研究比率	■ 危機管理領域との対応 グローバルセキュリティ50%：パブリックセキュリティ30%：災害マネジメント10%：情報セキュリティ10% ■ 危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

